

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

4月も下旬となりました。校内にある八重咲きをするサトザクラがちょうど見ごろできれいに咲いています。

みなさんは新しい環境に少しずつ慣れてきたでしょうか？クラスのなかまとは、たくさんコミュニケーションをとり、お互いを知りながら少しずつつながりを作ってほしいと思います。学校生活は時間で区切られるという制約はありますが、自分のペースをつかんで、新しい環境に慣れてほしいと思います。

朝夕はひんやりした空気に包まれるものの、日中は日差しがさすと気温が高くなり、寒暖差の大きい時期です。体調管理に気を付け、毎日の学校生活に取り組んでいきましょう。



「なかまを大切に 自分を大切に」とは？

先日、校舎を回っていたところ、トイレのスリッパがそろっているところとそろえられていないところを見て取ることができました。

みなさんがトイレに行ったとき、スリッパが整理されているところと、乱雑に散らかっているところとどちらが気持ちよく使えるでしょうか？ 想像すれば明らかだと思います。

では、自分が使った後にスリッパをどうしているのでしょうか？ 意識してそろえてトイレから出る？ 無造作に脱いで行く.....？

上の引用記事にもありますように、「後から来る人が気持ちよく使えるように」という思いやりの気持ちが持てたなら、一人ひとりが気持ちよく学校生活を送ることができるのではないのでしょうか。また、ひとりひとりが大事にされていると意識できるのではないのでしょうか？

「なかまを大切に、自分を大切に」と意識することはもちろんですが、もっと大切なことは、行動に移せるかどうかだと思います。みなさんはどうですか？

ご家庭でも、礼儀正しい態度や言葉遣い、所作などについて話題にさせていただくなど、引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。



いざというときに、どう身を守る？

4月15日(水)に防災訓練を実施しました。今年度はじめての訓練となりました。

巨大地震発生とその後の火災発生の恐れを想定しての訓練でした。

今年度はじめての訓練であったため一次避難の方法と二次避難時の避難経路の確認も兼ねて実施し、もしもの時の備えを日ごろから意識する大切な機会となりました。

さて、実際に「もしも」が起こったら、自分のいのちを守る行動がとれるでしょうか？ 学校以外のところで被災したらどのように行動すればいいのでしょうか？ 避難する場所や家族で落ち合う場所の確認はできているでしょうか？

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に起こる確率が80%と言われています。また、毎年のように河川の氾濫などの水害も起こっています。実際の「もしも」に備え、自分のいのちは自分で守る行動がとれるよう意識していきましょう。鈴鹿市の防災ハザードマップでは、天栄中学校の周りには、津波での被害想定区域や河川氾濫区域、土砂災害警戒区域等が多く想定されています。この機会にご家庭でもお子様と一緒に防災ハザードマップの確認を行い、どのように避難し

ていくのかなど、もしもに備え、家族でどう行動していくかご確認いただければ幸いです。

学習後の生徒の振り返りです

- まず、ハザードマップを見て、川が近いから、どこの場所においても何かしらの被害が来ってしまうということがわかりました。そして私は、実際に地震などが起きたとき、パニックになってしまうんじゃないかと思いました。なぜかという、どこに行っても被害を受けてしまうかもしれないのなら、どこに行ったらいいのかわからないだろうからです。なので、避難訓練などを受けるのがどれだけ大切かわかりましたし、地震の恐ろしさも身にしみました。(1年)
- 動画を見て、避難所生活はすごく大変なんだなと思った。だから人と協力し合うことが大切だと思った。南海トラフ地震の避難予想の動画がとても怖いと思ったけどそれが自分が生きている間に起こるかもしれないからしっかりと地震に対しての対策する意識を強めようと思った。もう一度家族と話したり防災カルテなどの確認をしなければいけないなと思った。(1年)
- 天栄中の周りが川の氾濫などで危険の多い地域ということがわかった。2本の動画を見て自分達家族は備えが足りていないように思った。水、食料は家族4人で一週間耐えたとすれば一週間もしない内に尽きてしまうだろうしその他避難所などで必要になるものも用意していなかった。家具も固定していないので今日学んだことを家族と話してみようと思った。(2年)
- 今まであった東日本大震災や阪神淡路大震災などと同じくらい、上回るくらいの地震が起きると言われているから、その2つの地震でもたくさんの死者やけが人が出ているから、いつ起きてもすぐ逃げられるようにすること、もし学校にいるときやお出かけしているときに地震が起きたらどのように行動するか、避難経路はどこかを確認するなどを家族でもう一度話し合おうと思いました。これからの避難も自分事に考える。最悪の場合もあるかもしれないからとあって一日一日をたいせつに過ごすことを心がけようと思います。ものなどが落ちてこないように固定したり、しまえるものはしまおうと思いました。(2年)
- 南海トラフのシミュレーション映像はかなりインパクトがあった。地図でみたとき案外海沿いで、津波の被害が心配になった。(3年)
- CGの映像で今日本当にありそうな映像で、こんなにも、大きな被害そして、大きな揺れ、大きな津波が来ると絶対に何も用意していなかったり、避難経路を確認しておかないと命に関わることがよくわかりました。避難しても、乾パンとかのものしか食べれないので、我慢することも大切なんだなとも思いました。(3年)

鈴鹿市防災ハザードマップの URL を掲載します。各ご家庭で話をさせていただく時の参考にしていただければ幸いです。

[防災情報 | 鈴鹿市公式ウェブサイト](https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/index.html)

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/index.html>

[総合防災マップ・ウェブ版総合防災マップ | 鈴鹿市公式ウェブサイト](https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/1001530/1012864.html)

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/1001530/1012864.html>

[鈴鹿市の避難場所 | 鈴鹿市公式ウェブサイト](https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/1011170/1001554.html)

<https://www.city.suzuka.lg.jp/kurashi/safe/1001523/1011170/1001554.html>

修学旅行そして進路に向けて取り組みます

4月16日(木)、1・2年生は授業参観、3年生は修学旅行・進路説明会を行いました。

1・2年生は授業を参観していただきました。

授業ではグループ学習の中で、自分の考えをみんなにわかりやすく伝えることや相手の考えを聞き、自分の考えと比較しながら、さらに思考を深めていくことを身に付けていてもらえたらと考え、授業を組み立てています。同時に、他者の考えを聞きあい、共感しながら、お互いを尊重し合うことで生徒同士の「つながり」を育む授業を展開していたと思います。「つながり」や「まなび」を意識する手段として端末を日常的に活用しています。

保護者のみなさまにおかれましては、お子様の学校生活や授業の様子をしっかりと参観していただき、本当にありがとうございました。

3年生は、5月に実施する修学旅行と進路について、卒業の進路や高校受験の際の用語の説明等について各担当者から説明を行いました。修学旅行は、中学校生活で一番楽しみにしている行事の一つだと思います。いい思い出ができるように、説明されたことを理解し、修学旅行に臨んでほしいです。進路に関しては、進路選択はまだまだ先のことと考えがちですが、時間が経つのはあっという間です。この説明会をきっかけに、「今から、ここから」取組を開始して行ってほしいですね。

どの部活動に入ろうかな？

4月17日(金)、部活動紹介がありました。

はじめに3年生が代表して部活動に加入した自らの経験から、1年生にも部活動に加入して、何事にも挑戦してくださいとあいさつがありました。

あいさつ後には、たくさんの1年生に加入してもらおうと各部活動が、趣向を凝らして自らの部のアピールをしました。各部の紹介後、先生から入部手続等について連絡がありました。

1年生は、仮入部期間中に各部活動を回り、どんな活動をしているのか十分に知ったうえで興味があり、「やってみたい！」と思える部活動を選んで加入し、中学校生活を充実させていきましょう。

